

「超音波根入れ長測定技術者」教育制度

●社会的背景

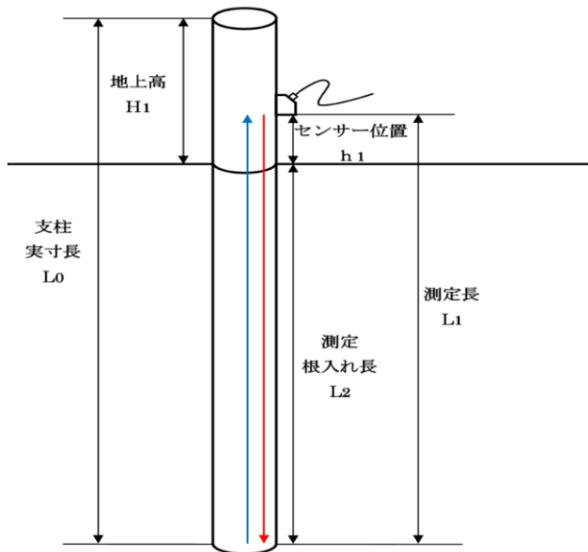
昨今、国交省による防護柵工事の出来形管理において、ビデオ撮影による出来形管理から非破壊試験を活用した根入れ長測定による出来形管理へ徐々に増加している現状です。また、NEXCOにおいても平成28年8月より国交省に準ずる仕様化となっており、更には都道府県単位の発注業務内でも織り込まれ、今注目の最新出来形管理となっております。

●非破壊試験の採用によるメリット

- ・施工後（埋設済み）に測定が可能
- ・測定箇所の管理が容易
- ・ミリ(mm)単位での測定が可能等々

●測定原理

超音波の送信から受信までの時間により長さを測定



●認定装置



NST-2



JTM-10

●技術講習会概要

EITACでは、一般社団法人日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所の協力を受け、本技術講習会を開催しております。又、第一線で活躍されている方々を講師としてお招きしております。

筆記講習概要

- ・社会的背景、経緯
- ・測定業務の心得、倫理
- ・超音波の基礎知識、測定原理
- ・認定装置に関する知識
- ・構造物に関する知識



●技術者の認定

筆記試験、及び実技試験を行い、技術者として認定しております。

協会加盟企業の合格者の方へ認定証の発行を行っており、技術者としての意識を高める為、現場で携帯可能な認定証の発行も行っております。

実地講習概要

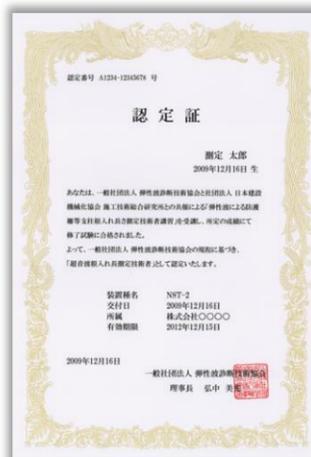
- ・測定を行う際の注意事項
- ・装置を使用し、埋設前、埋設後のガードレールを測定
- ・実際の現場で活躍されている方々が講師を務める



●超音波根入れ長測定技術者認定証

会員企業の受講者

- ・認定証
- ・カードタイプ認定証



認定証



カードタイプ認定

EITAC

Elastic wave Inspection Technology Association

一般社団法人 弾性波診断技術協会